



# 六月便り

めずらしく、父の日のお話をしてみます。私は男ですから、と言うか一般的には息子はお母さんがいいもので、娘はお父さんがいい、一概には言えませんが、まあ一般的傾向ではないでしょうか？そして、父の日にちなんで、父の事を語ろうと思いました。

幼いころは色んな所に連れて行ってくれました。連れて行ってくれた場所を考えると、その時はあまり分からなかったのですが、きつと何か訳があつて、そこに行つたように思います。例えば鳴海駅の近くで、鮭屋のカウンターに父と並んで座つた思い出があります。父は私に中トロを食べな！と注文してくれました。その時、私は、鮭のトロを食べるのが初めてだったように思います。美味しくかつたのですが、小さな子どもにとっては、トロの油が少しばかりくどくて、ちよつと残した覚えがあります。でもけつこう量が多かつたので、しっかりと食べたと思います。父は私にきつと腹いっぱい

高級な中トロを食べさせたかつたのでしよう。鮭屋のおやじに嬉しそうに、「こいつは旨いもんをよう知つとる。」と話していただきました。私はまだ、小学校に上がる前だつたように思います。なぜ鳴海駅近くだつたのか、分かりませんが、最近、『昭和の名古屋』という写真本が出版されまして、2万円もする高い本ですが、なつかしさもあつて買いました。その本の中に、昭和の初めのタクシー会社、ヒカリタクシー、従業員3人と、社長で、フード3台とありました。場所が鳴海でした。実はこの会社、私の先祖です。父方の祖父、お爺さんが経営する会社だと、祖母に聞いた事がありました。私の家は南区呼続ですが、戦前には鳴海だつたということですから、わざわざ鳴海まで出かけて、なじみの鮭屋があつたのだらうと思ひます。当時は、回転寿司はないですから、鮭屋のカウンターは高級なお店だつたんだと思ひます。でも、そんな父親でしたが、今思えば、私には特別な思いがあつたのでしよう。バイオリンの英才教育、自分の思い通りにならな



いと気が済まない、頑固一徹の父でした。少し大きくなつた頃には、私のしたい事、欲しい物については、何でもダメ、それはダメ、ダメとしか言わない父で、いつしか、とつても嫌で、嫌で仕方がなかつたです。映画が見に行きたくても自分が連れて行つてくれる映画だけで、他はダメ。そして、我が家にテレビが登場するのは、ずいぶんと遅かつた記憶です。ご近所でテレビの無い家はほとんど無く、私はと言えば、ご近所に厚かましく、テレビ見せて、と上がり込んだものです。へ続く

## 平成28年 6月のケイズファミリーデイサービス

6/1(水) ～	★玉入れゲーム 懐メロ音楽療法	
6/4(土)	リハビリ体操&頭の体操	
6/6(月) ～	★的あてゲーム 懐メロ音楽療法	
6/11(土)	リハビリ体操&頭の体操	
6/13(月) ～	★バウンドボール ★キックボール	
6/18(土)	14日(火) YMK 演奏会 15日(水) 誕生日会 懐メロ音楽療法 リハビリ体操&頭の体操	
6/20(月) ～	★チーム対抗ゲーム 懐メロ音楽療法	
6/25(土)	リハビリ体操&頭の体操	
6/27(月) ～	★輪投げゲーム 懐メロ音楽療法	
6/30(木)	リハビリ体操&頭の体操	

